

## 交通安全対策工事について

横浜国道事務所 交通対策課 高木 亮太

### 1. 目的

交通安全対策工事の中で、私が発表するのは、東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた、道路標識の英語表記（ナンバリング）についてです。東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に伴い、外国人来訪者が多く訪れることが予想されるため、外国人にとって、より分かりやすい案内標識となるように、千葉、埼玉、神奈川県内において、道路標識の英語表記（ナンバリング）を行っていきます。

### 2. 内容

既存の物と、何が変わるのかというと、交差点名に英語表記を追加し、高速道路への案内には、例えば、東名の場合「E1」の文字を入れたりすると、標識のレイアウトを変える必要がでてきます。そのため、文字数が増えることに伴い、既存の物では標記しきれず、標識板の版自体を交換することもあります。

### 3. 成果

kouen（公園）を park（公園）と、外国人観光客へよりわかりやすい英語表記の統一化を行いました。

また、広域的にわかりやすい案内をするため、保土ヶ谷バイパスに、道路標識関係基準にも無い、大きな標識を設置しました。対策前に行った、ビデオ調査により判明した事象として、行き先が分からず分岐地点のゼブラ帯を斜め横断している車を確認したため、より分かりやすい標識に改善したものです。



### 4. 今後の課題

現時点で一般からの問い合わせが無いものの、今後さらなる改善が必要か、利用者の意見の聞き取り等を行い、見直していく必要があるか検討する予定です。